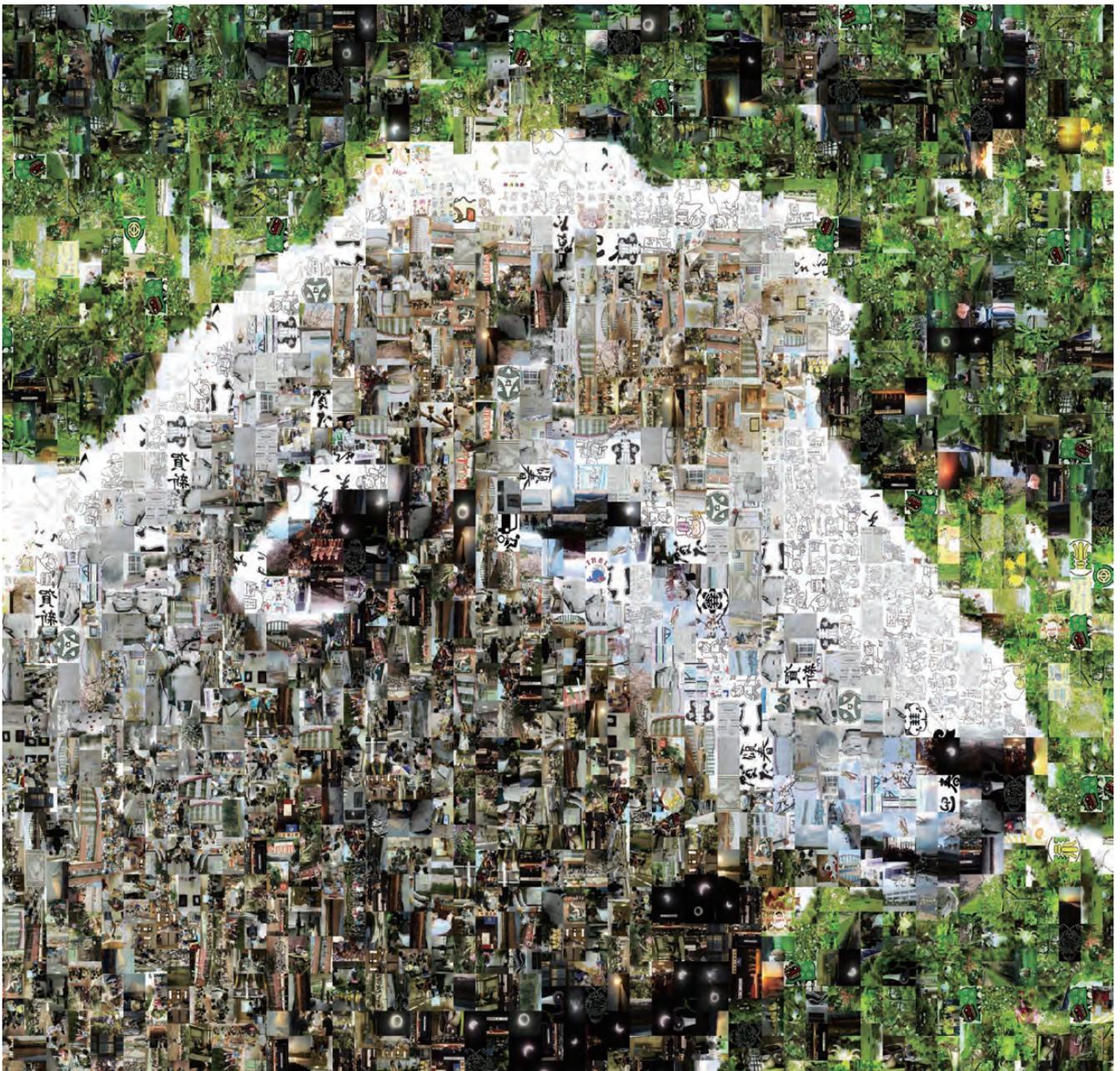




発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター

編集／広報委員会



モザイクアート 作：折居弘昭会員

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号
 電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272
 ホームページ：http://www.akishima-sc.or.jp/

会員数 <small>(平成26年12月22日現在)</small>	男性	女性	合計
	819人	288人	1,107人



新年を迎えて

会長 黒岩 茂

あけましておめでとうございます。
会員の皆様方には、「ご家族の皆様と健やかな新年をお迎えのことと、心から
喜び申し上げます。

日頃はシルバー人材センター事業に対しまして温かいご理解、ご支援、ご協
力を賜り厚くお礼を申し上げます。

当センターも今年も創立40周年を迎え、新たに公益社団法人として4年にな
りますが「公益」の責務下での事業、法令に伴う指導の厳しさを痛感してござ
います。センター事業は本来「請負事業」が基本ですが、現況ではこれに限界があり多
面に支障をきたし、新たに「派遣事業」導入を余儀なくされているのが現状です。
そのため今後は今までの以上の試練が予想されますが、センターの発展、永続を
願うためには避けて進むことはできません。

厳しい世相ではありますが、お客様あつての事業です。就業は勿論のこと社会
奉仕活動を通して、地域の皆様との信頼関係を深めることが、一層重要となつて
まいります。

市民の皆様のご支援、ご協力をお願いし、会員の皆様とともに、喜ばれ期待さ
れるシルバー人材センターを常に目指してまいります。ご理解、ご協力よろしく
お願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって希望に満ちた多幸の年でありますよう、そして益々
お元気にてのご活躍を心から祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。



新年のご挨拶

名誉会長 昭島市長 北川 穰一

新年明けましておめでとうございます。
今年が皆様にとって明るく、実り多き年となりますよう心からお祈りいたしま
す。

平素、黒岩会長を始め、会員の皆様方には、市政運営に温かいご支援とご
協力を賜り、心からお礼申し上げます。

昭島市も皆様のおかげをもちまして、昨年は市制施行60周年の記念すべき年を
迎えることができ、昭和29年に昭和町と拜島村が合併して以来、60年の歩みの中

2015年を迎えて

地域班長の抱負

「お誘いに励む」

つつじが丘2班2 山口 信子

私はつつじが丘2班2の班長として、総会の案内等の配布で会員宅を訪
問します。その折に未就業の会員には、センターの近況をお知らせします。
先日、数年仕事を休んでいたある会員から、また仕事に就きたいとセ
ンターに相談に行つたとお聞きしました。私も班長として、お役に立つた
のかと嬉しく思いました。

今年こそ地区行事に、一人でも多くの会員を、お誘いできればと思つて
おります。

「会員との交流強化」

東町2班 内野 精夫

地域班長になつてまだ数ヶ月ですが、会員との交流を少しずつ深めるこ
とが出来ました。

また私が就業している映像制作グループも今年で5年目になり、現在は
7名の会員で制作活動を行っています。

今年は、まず会員の皆様の自分史ビデオ制作を展開し、一般市民へ拡大
を図って行きたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

「顔を合わせる努力を」

大神町2班 土屋 正夫

今年には地域会員との繋がりをも深めたい。配布物で会員宅へ訪問時、就業
中や、留守と思ひ、ついついポストに入れて済ませることが多くなりがちです。
その結果、顔を合わせるのが偏り、いつも同じ人になつてしまふ。なかなか
かかえない方とも、玄関先での手渡しを大切に、触れ合う機会を増やす
よう、心がける年になつたいと思ひます。

「体調を万全に」

緑町2班 指田 佐太郎

2015年、私にとって傘寿を迎える年になりました。今まで地域活動
に重点を置き、老人会の会長、ウィズユースの委員長等々努力をして参り
ました。

その間、シルバー人材センターの紹介で広報配布に従事しています。数
百軒の配布、約1万7千歩の運動で、現在も体調は万全です。今年も地域
活動と広報配布を、自分の体調管理のため、頑張つて行きたいと思つてい
ます。

で市は大きく発展し、今また、立川基地跡地や拜島駅前地区の整備等により、まちの姿も目に見えて変わり、一段の飛躍を遂げようとしています。

こうした都市基盤整備の分野だけでなく、教育や福祉、防災など、市政のあらゆる分野で、「元気都市あきしま」の実現に向け、本年も邁進してまいる所存であります。

そして、これからのまちづくりには、高齢者の皆様が心身ともに健康で、積極的に社会参画をしていただくという視点が、益々重要なものになってきております。

皆様方におかれましては、「自主・自立」、「共働・共助」のシルバー人材センター事業の理念のもとに、今年も事業発展にご尽力をいただく中で、昭島のまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人昭島市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様、ご家族の皆様のご健康、ご活躍を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭にあたって

昭島市議会議長 中野 義弘

新年あけましておめでとございます。昭島市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、お健やかにお正月をお迎えになられたことお慶び申し上げます。また、平素より市議会活動にご理解、ご協力を賜わり心よりお礼申し上げます。

貴センターは、昭和50年に都内で二番目に設立されて以来、高齢者に就業の機会を提供しているところであります。そして会員の皆様は地域で豊富な知識や経験を活かして働くことにより、健康維持や社会参加を果たしているところでもあります。このことは、地域の活性化や、福祉の向上にも繋がり、改めて貴センターの活動に深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

今日、少子高齢化が急速に進む中で、高齢者の皆様が生涯現役として活躍くださることは、活力ある地域社会の形成に資するものであり、「元気都市あきしま」の支えであります。そのために担う貴センターの役割はますます重要となっております。市議会といたしましても、高齢者の働く機会確保と福祉の増進のため、より一層の努力をいたす所存でございます。

結びに、昭島市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

職群班長の抱負

「接客の向上を目指す」

自転車管理班 和智 孝

昨年は拜島駅南口地下駐輪場を仮オープンし、運用開始いたしました。今年には完全オープンを目指しています。管理方法も今までと違い、戸惑いもありましたが現在は順調に運用できるようになりました。

また今年も、マナー接遇研修を通して管理者の接客対応の向上を図り、利用者には不快な思いをさせない運用を目指したいと思います。管理員の安全就業と健康管理に気をつけてまいりますので、今年もよろしくお願い致します。

「健康管理に気をつける」

学校管理班 山本 米蔵

昨年は大きなトラブルもなく、順調に業務を行うことが出来ました。これも先生方、他の管理員のご協力と、シルバー人材センターのご指導の賜物であると思います。

本年は心新たに、管理業務を遂行してまいりたいと思います。特に気をつけたいことは健康管理です。元気で楽しく、人とのふれあいを大切にしながら、たくさんの子どもの笑顔が見られるよう、日々頑張ってまいりたいと思います。

「1年を無事に送りたい」

表具・表装作業班 千国 勝利

センター1階で作業している表具・表装作業班は、現在2人体制で仕事をしています。できればもう1人入ってもらえればとも考えています。特に経験は不要ですが、専門仕事なので講習等は受けていただきます。

その上で、事故なく、お客様からの苦情もない1年にしたいですね。そうすれば、楽しく、自分なりの納得いく仕事をしたという満足感も得られると思います。

「安全安心な作業の徹底」

イトヨーカ堂昭島店カート回収班 城 重彦

あけましておめでとございます。私達の今年の目標は、安全安心な作業の徹底です。作業を効率良く進めることはもちろん大切ですが、優先するのは確実な作業です。これが接触などの事故の防止につながり、お客様の安心感とサービスの向上につながると考えています。安全安心な作業に、メンバー全員で取り組んでいきます。

産業まつりに参加しました

昨年の11月8日・9日の2日間、KOTORIホール（市民会館）・公民館の前庭と駐車場で、昭島市制施行60周年記念事業としての「第46回昭島市産業まつり」が開催され、当センターも例年どおり参加しました。



広報委員・会員増強検討委員を中心に理事・植木班・手芸の会の皆さんにより、パネル展示、各種チラシの配布および手作り小物の販売などが行なわれました。

当センターのブースは今回も大変盛況で、多くの来場者に、東京しごと財団作成の「シルバーに頼んでみたら？」のチラシやマスク等を手渡すことができました。

11月の入会説明会の参加者はいつもより多く、この宣伝効果の現われと思っています。

なお、植木班による手作りの竹箒および手芸の会の作品は好評で、想定以上の売上となり、それぞれ1万円と2万円の合計3万円を、売上の中から社会福祉協議会に寄付しました。

理事会だより

10月定例理事会（10月27日）

議決事項

- ・会員の入会承認について、男性6名、女性12名、計18名の入会が承認されました。
- ・就業基準に基づく再契約について17件、延34名の再契約が承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・安全管理委員会より、昭島消防署によるAED講習会実施及び安全就業推進大会開催予定が報告されました。
- ・ふれあい祭り実行委員会及び作品展示会より、それぞれ総括会議の報告があり、平成27年の実施に向けた作成資料を承認しました。

11月定例理事会（11月25日）

議決事項より一部抜粋

- ・会員の入会承認について、男性7名、女性4名、計11名の入会が承認されました。
- ・就業基準に基づく再契約について181件、延891名の再契約が承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・総務部会報告の一部として、糟谷理事より女性新会員の動向（4〜6月入会者）の調査結果が報告されました。10月末現在で、就業者28名、未就業者13名。
- ・パトボラ実行委員会より、「シルバーの日」地区別合同パトロールが、380人中128名、33.7%であったことが報告されました。

12月定例理事会（12月22日）

議決事項

- ・会員の入会承認について、男性4名女性3名計7名の入会が承認されました。
- ・就業基準に基づく再契約について23件延31名の再契約が承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・11月末現在の事業実績において、前年度比約900万円の増加となったことが報告されました。
- ・広報委員会より、設立40周年記念事業の具休案を、各部会、委員会に検討を求める要望がありました。

健康診断を受けましょう

ご自身の健康管理のために、ぜひ毎年1回は、健康診断を受けましょう。なお、昭島市では、国民健康保険加入者を対象に健康診断を無料で実施しています。

退会をお考えの方へ

退会を希望される方は3月31日までに事務局へ退会届の提出をお願いします。4月1日になってしまいますと、翌年度の年会費等（2,800円）が発生してしまいます。よろしくお願いたします。

「安全就業推進大会」の報告

安全管理委員長 田内 實

そのマナー 孫が見ている 後ろから

これは今年度の安全就業標語の最優秀作品です。この標語を染め抜いたのぼり旗も作られ、センター玄関及び2階に飾られています。こののぼり旗の下、「安全就業推進大会」が昨年11月14日にセンター2階研修室において開催され、冒頭、黒岩会長から標語の作者に表彰状が手渡されました。

続いて、第一部の健康管理講座では「がんと老化を防ぐ食事」と題して昭島病院の管理栄養士さんから講演いただきました。日本人の死因第1位はがんで、昭和56年に1位になつて以降一貫してトップで、男性では肺がん・大腸がん・前立腺がんが、女性では大腸がん・乳がん・肺がんが増加していることの紹介がありました。そして、それぞれのがんの予防と食事について説明がりましたが、食事についてはエネルギーや脂肪の摂り過ぎを抑えること、高塩分食品の摂取を抑えること、アルコールを抑えること、喫煙を止めること、野菜や果物の摂取を多くすること等の注意がありました。

第二部として、4つの職群班より安全就業体験発表があり、盛況裏に安全就業推進大会を終了しました。

転倒を防ぐ準備運動



安全に仕事をするには、一にも二にも転ばないことです。特に冬場は転倒事故が増えるので注意しましょう。

屋外作業が多いセンターの仕事は、足元が凍結している場合は嚴重な注意が必要です。屋内作業の場合でも、就業途上の道路凍結などで、自転車の転倒、徒歩での転倒には気を付けてください。

道路が凍結していない場合でも、寒さで硬くなった身体、特に足元は想像以上に動かなくなっています。高齢者はわずか10センチの段差でも、越えることができずに転倒することが珍しくありません。こうした事故を未然に防ぐには、準備体操が有効です。仕事に向かう前、自転車に乗る前、歩き出す前には、膝の屈伸を2回3回とするだけでもいいんです。

長時間仕事や長い距離を歩く場合、10〜20分に1回の割合で、屈伸をするのもお勧めです。さらに冬場の自転車移動では、路面凍結があるなら、下車して押し歩く用心深さも必要です。そして、靴底に深い溝があるスニーカーなどで行動してください。

AED講習会レポート

安全管理委員会の主催によるAED講習会が、昨年10月20日にセンター1階会議室において開催されました。昭島消防署から講師として、高橋・細田の両氏をお迎えし、安全就業支援員20名を含む32名が参加しました。

内容は、心臓マッサージとAED機器の取り扱い方法の説明と実技があり、上半身のみのマネキン4体を使い、先ずは心臓マッサージの実技を一人ひとり交替しながら体験。

次に2人1組となり、心臓マッサージをする人とAED機器の操作をする人にわかれ、音声ガイドに従ってチャレンジしました。あちこちで操作指導の声や「ハアーハアー」と息切れの声がるなか終了。予想以上に難しかったという印象ですが、それでもひと通りの流れがわかり、少しはあわてず対処できるという自信を持ってた会員が多かったです。

(広報委員

栗原輝雄)



就業体験記①

「仮組み作業」に従事して

昭和町 渡部 敏子

昨年6月に入会し、毎日自分に出る仕事があるかどうか不安でしたが、10月から仮組み作業に週3回、3時間、センターに通い始めました。

内容は自動車部品だそうです。ゴムホースにリングを2個、専用工具を使用して取り付けるといふ内職作業です。初日は100個、翌日は200個と、数も増えていきました。もっと仲間が増えるといいですね。



入会して半年そこそこですが、生活にメリハリが出てきました。初めての配分金を受け取ったときは、孫になにをプレゼントしようかと、大いに悩んだりしたものです(笑)。

就業体験記②

週3回の保育園庭管理

田中町 森田 林一

昨年10月下旬から月水金曜の週3回、雨の日は休むというスケジュールでつつじが丘



保育園の園庭管理に就きました。この保育園ではすでに、正門見守りの仕事を受けていますが、それとは別の独立した業務。樹木の枝落としや草花の育成、枯れ葉や雑草の整備などのほか、キウイなど果実の収穫も行います。

特段、植木仕事の経験はありませんが、自宅の庭で剪定などをするのが好きだったので、作業するのには困ることはありません。むしろ手入れが十分ではなかった面のある園庭で、やりがいがあります。まずは4シーズン1年を通して管理したいですね。

女性会員が増えてきました

○就業者28名○未就業者13名

各シルバー人材センターは、いかに女性会員を増強するかが、課題となっています。当センターも例外ではありません。そこで女性会員の増強を目的に、昨年4月・10月には女性対象入会説明会を行い、合わせて53名の参加がありました。

その後入会者数の動向を調査した結果、4月から6月の一般のものも含めた説明会分では41名の入会者がありました。4月22名、5月8名、6月11名です。



動向の内訳は、家事援助サービス班登録者33名、うち活動会員14名。他に内職作業7名、駐輪場4名その他清掃等9名(重複あり)です。

新規女性会員の受け皿として、女性会員向けの内職作業(自動車部品加工・ウエスの分別)に加え、短期内職もありました。依頼業者さんから丁寧な仕上がりと好評です。

他のセンターから視察

これに関連して昨年11月13日には、第6ブロック次長会担当6名が視察に訪れました。当センターから女性理事3名が出席しました。各センターの悩みは女性会員増強にあり、昭島がいかに成果を上げられたのか、女性理事3名が前述の実績に加え、女性対象入会説明会の内容、女性就業会員が多い家事援助サービスマスの現状等を報告し、強い関心を持たれたようでした。

事務局だより

報告書、明細書の書式が変更



事務局の業務システムをより良いものにするために、1月末に業務システムの入れ替えを行います。

それにより、就業報告書及び配分金明細書の書式が変更となります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしく願います。

掲示板

シルバーの日

昨年10月17日は東京しごと財団が定める「シルバーの日」でした。昭島市シルバー人材センターでは、各地区でパト・ボラの合同パトロールが行われました。10月



17日の実施ではない地区もありましたが、トータルで380名のパト・ボラ会員のうち128名が参加。参加率は33・7%でした。



ちよつといい話

フォトモザイクアート

今号の表紙は羊を描いたフォトモザイクアートです。ご存知のモザイクアートの写真版で、大量の写真や画像を組み合わせて1枚の絵にする手法だそうです。使用する写真は、重複しない場合では2千枚にもなるようです。近くで見ると写真が並んで見えますが、離れて鑑賞すると全体像が浮び上がって、不思議さと醍醐味を感じます。この作品は、パソコン講師会、折居弘昭会員の傑作です。

編集後記

あけましておめでとうございませう。今年も昭島市シルバー人材センター設立40周年の節目の年です。本紙「いずみ」でも記念企画を考え、HPでも祝賀ムードで満たしていく予定です。岡 裕美

大義なき選挙と言われた忙しい師走の衆院選も終わり、第3次安倍政権には景気を良くして「シルバー世代」が安心して暮らしていけるよう、明るい年にして欲しいと願うばかりである。光富 宏規

新年明けましておめでとうございませう。干支にちなんで広報委員として、メーエ、メーエ頑張りませうので、会員の皆さんもより以上のご愛読をお願い致します。齋藤 タミ

昨年7月より広報委員会の仲間に入れていただき、右も左もわからないだらけの広報作り。60歳を過ぎたら、「パソコン! さようなら」と思っていました。足手まといにならないよう努めていきます。栗原 輝雄

今年の干支は「未」(ひつじ)です。「羊」は家族の安泰と平和を意味し、「未」は木の枝葉が茂った様を表します。「未来」へ向かって成長を続ける努力を会員皆様と一緒に! 折居 弘昭

初日の出を多摩川にて霽と静けさの中で迎える。心身ともに健康であることを願い、多くのすばらしい人との出会いに感謝。今年も「ありのままの自分」で初心を忘れずベストを尽くしていきたい。平井 由子

干支は午(うま)から未(ひつじ)に引き継がれました。未という字は、茂っている木の枝が伸びきっていない部分を描いたものだといわれていますが、未だではなく、明るい未来の未であると信じたいものです。本年も宜しくお願致します。三浦 武男

「相談の日」

毎月第1火曜日

◇9:30~11:30

センター事務所 2階

※担当理事が相談をお受けします



カラークラフ ニュース



家事援助班4グループの蛍光灯交換



産業まつり。手芸の会の作品販売にお客さん殺到



単発内職。ケータイ周辺機器の箱詰め作業



民間企業就業者対象の接遇研修



AED研修。人形を使い心臓マッサージを学ぶ



放課後子ども教室。クリスマスツリーの飾り付け

26年度安全就業標語 (テーマ 自転車事故防止)

そのマナー 孫が見ている 後ろから